

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)あんしんサポートハウス「敬	階数	地上1F
建設地	京都府福知山市	構造	木造
用途地域	市街化調整区域、法第22条区域	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2012年11月2日
敷地面積	47,127 m ²	作成者	住建設計 北川 廣次
建築面積	2,287 m ²	確認日	2012年11月9日
延床面積	2,092 m ²	確認者	住建設計 北川 廣次



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 87%
 ③上記+②以外の 85%
 ④上記+ 85%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境 (スコア: 3.7)

Q2 サービス性能 (スコア: 3.3)

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 4.0)

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー (スコア: 3.1)

LR2 資源・マテリアル (スコア: 2.9)

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.1)

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 自然に囲まれた環境を活かす施設づくり	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 窓ガラスのペアガラスの採用、底の出を大きくすることによる日射遮蔽効果の向上	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 設備についての維持管理の容易性	Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 周囲の自然と一体となる空間づくり
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 太陽光パネルの積極的利用	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 府内産木材の使用	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 周囲の自然や建物との距離を適度に保つことによる相互間の影響の低減

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される